

活力ある『まち』づくりを目指し 計画的な事業推進

年頭のごあいさつ

横芝町長 實川 堅司郎



平成4年の新春を迎え、謹んで町民の皆様にご挨拶を申し上げます。

昨年皆様のご支援のもと、町長という重責を担いでいただき、身の引き締まる思いで新たな年を迎えました。

就任以来6か月を経過いたしました。活動あるまちづくりに向かって懸命の努力を重ねているところでございます。

さて、平成の時代へと入っ

て国の内外情勢はめまぐるしく変革しており、東欧諸国の自由化の波は、大國ソビエト連邦の解体にまで波及し、世界の流れは大きく変わりつつあります。

一方国内においては、昨年秋、宮沢新内閣がスタートいたしました。バブル経済の崩壊という背景の中で、米の自由化問題やPKO法案等が論議的的となつてくるものと

思われます。

このような内外情勢の中にあつて、県においては「さわかやかハートちば5か年計画」がスタートし、上総研究都市・成田空港・幕張新都心を結ぶ「新産業三角構想」や、東京湾横断道着手・圏央道計画を含む道路交通網の整備を図ることによつて、均衡のとれた

県土づくりが進められております。

また、成田空港の完全化の糸口として、開港13年にして「成田空港問題シンポジウム」が開催され、対話への道が開かれつつあります。空港二期への円滑な推進を願う当町といたしましても、大きな関心事として受け止めています。

このような背景の中で町も、議会をはじめ、皆様の御協力をいただきながら、各種の事業を順調に進めてまいりましたが、特にその中で、これからの町の産業の「核」ともなる「横芝工業団地」が本年3月で完成し、それを受けて平成4年度には企業の誘致が図られます。

昭和46年以来、歴代の町長さんをはじめ、関係されました

諸先輩、そして用地を提供いただきましたみなさんに衷心より御礼申し上げます。

また、本年は、次期5か年計画の初年度としてスタートいたしますが、大勢の皆様のご協力のもとに、豊かな環境・ふれあい空間づくりとして、7年の歳月を要して事業をすすめてまいりました「坂田池公園」を完成させる予定であります。隣接地のスポーツ公園計画、栗山平和公園工事、駅前広場の用地確保等にも全力を注ぎたいと存じます。

一方、これからの福祉社会を充実させるため、社会福祉協議会の法人化を図るとともに、はり・きゅうへの利用助成等を中心に、高齢化社会に